

会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和元年度第4回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)	小金井市ごみ対策課		
開催日時	令和元年9月12日(木)		
開催場所	中間処理場 事務所棟研修室1		
出席者	委員	<出席者：13名> 岡山会長・渡辺副会長・石原委員・多田委員・林委員・岸野委員・大江委員・星野委員・齋藤委員・土屋委員・山田委員・黒須委員・波多野委員 <欠席者：2名> 石田委員・堀越委員	
	事務局	小野ごみ対策課長・花野ごみ処理施設担当課長・石阪中間処理場担当課長・大久保・高田・高花	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	0
会議次第	1 開 会 会議録の確認について 2 報 告 (1)燃やすごみの処理量の昨年度との月別比較について(平成30年度・令和元年度)について (2)令和元年度 可燃ごみ処理の支援状況について 3 議 題 (1)小金井市一般廃棄物処理基本計画の策定について 4 その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他			

(審議過程) 主な発言等

渡辺副会長	<p>これより令和元年度第4回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。</p> <p>本日の欠席委員について、堀越委員と石田委員より、欠席の連絡を事前に頂いている。</p> <p>また、岡山会長より、遅刻の連絡を頂いている。</p> <p>まずは、本日の進行及び配布資料についての確認を事務局からお願いしたい。</p>
大久保減量推進係長	<p>(配布資料確認)</p> <p>(「意見・提案シート」紹介)</p>
渡辺副会長	<p>続いて、前回、令和元年度第3回審議会の会議録について、意見・修正があれば申し出ていただきたい。</p> <p>特になければ、修正後、事務局にて公開手続きに入る。</p>
岡山会長	<p>では次に、本日事務局より提出された資料についての報告と説明を求める。</p>
大久保減量推進係長	<p>(「燃やすごみの処理量の昨年度との月別比較について」説明)</p>
花野ごみ処理施設担当課長	<p>(「可燃ごみ処理の支援状況について」説明)</p>
岡山会長	<p>事務局からの提出資料の説明と報告について、意見・質問はあるか。</p>
渡辺副会長	<p>月別収集量に差があるのは収集日数の違いか。</p>
大久保減量推進係長	<p>ご推察のとおり、収集日の実績日数によって、50～60t／日程度の差が生じる。</p>
岡山会長	<p>他に無いようであれば、議題に移る。</p> <p>それでは「小金井市一般廃棄物処理基本計画の策定」について審議に入る。本日事務局から、資料が机上に配布されている。事務局より提出された資料についての説明を求める。</p>

(審議過程) 主な発言等

小野ごみ対策課長	(配布資料説明)
岡山会長	事務局からの説明に対して、意見・質問はあるか。
渡辺副会長	単身世帯の食べ残しの割合が前回よりも高くなっているということだが、分類区分の変更による影響があるのか。
大久保減量推進係長	今回の分類区分の中で見ると非可食や食べ残しの割合が多いという結果となったが、厨芥類全体で見ると、割合は前回より減少傾向にある。
渡辺副会長	物理的非可食は、調理をする以上仕方がない部分もあるので、こちらではなく食べ残しを減らす方針になると思う。
林委員	考察がないので、これを見ても何が言いたいのが分からない。サンプルチェックではあるが、何か論評するべきである。厨芥類の割合は前回とあまり変わらない。プラスチックの割合は前回より増えている、特に単身集合住宅の割合が高い。今後どこをアピールして施策をとらなければいけないか考える必要がある。何を攻めなければならないかを念頭においた評価をしていただきたい。
岡山会長	計画策定にあたり何が重要かを考えていただきたくてデータだけを出している。
林委員	箇条書きに書き出して、これは事実なのか、共通の問題認識として持ってよいものか、たまたまなのか等、チェックする作業が必要ではないか。
渡辺副会長	委員の中で意見を出していただいたらよいのではないか。
林委員	市がこの結果を見て何を考えたか箇条書きで示してもらえると、こちらからも意見を出しやすい。
岡山会長	林委員のおっしゃるとおり厨芥類が減っていない。この結果から、ライフスタイルが透けて見える。

(審議過程) 主な発言等

林委員	事業所の厨芥類の割合が増えていること等、傾向が見て取れる。
岡山会長	割合なので、事業所は紙を分別するようになったということも考えられる。
渡辺副会長	事業所は特にサンプリングの問題も考えられる。
小野ごみ対策課長	前回と同じ地区から集めているが、事業所は特に入れ替わりがあった。5年前と若干実態がずれているかもしれないが、それも加味したうえで議論していただきたい。
岡山会長	特に戸建てでは、くつ・かばん・ベルトがごみの中に出なくなってきた。
小野ごみ対策課長	くつ・かばんの拠点回収を現行計画策定後に開始しているということも多少影響していると考えられる。
渡辺副会長	単身集合住宅の資源となる紙が一番減らせそうだと思う。
小野ごみ対策課長	雑誌が多いので、資源で出せると認識いただけるよう啓発していきたい。
岡山会長	単身者と戸建て・ファミリー集合住宅を比べると、単身者は厨芥類が少ないが紙類とプラは多い。そういったところを読み取っていただければと思う。
小野ごみ対策課長	食品ロスの関係になるが、賞味期限が切れた飲料が開封されずに廃棄されていた。賞味期限の意味をきちんと理解していればまだ飲めるものである。賞味期限と消費期限の違いを伝えていくことも必要と感じている。
渡辺副会長	食品ロスという観点では全体をターゲットにする必要がある。紙やプラスチックは単身者向けである。プラスチックは重量にすると多く見えないが、容積にすると多くなる。

(審議過程) 主な発言等

岸野委員	プラは店頭回収を推進してもいいのではと思った。ペットボトルは店頭回収利用者が多い。
岡山会長	戸建住宅とファミリー集合住宅のペットボトル混入がゼロなのは、とても優秀である。 しかし、ごみ量のほうは、横ばいである。
渡辺副会長	原単位は微減しているが、人口微増で横ばいとなっている。少しずつとはいえ、減っているのはすごいことである。
小野ごみ対策課長	減りきった状態ではあると思うが、組成結果で分かるようにご協力いただいていない方がまだいると考えられる。その方々に啓発・情報提供をすることで、さらなる減量・資源化につながる。前回、前々回は新たな施策を考えてお願いしてきたが、今後はより多くの方に取り組んでもらえるような取り組みを計画に盛り込みたいと考えている。また諮問の時に素案を作らせていただくので、ご意見を頂ければと思う。
渡辺副会長	そうなると、ターゲットは単身者と転入者へのアプローチが課題になると思う。 ところで、燃やすごみの量は増えていないのに、焼却灰の量が増えている理由は何か。
大久保減量推進係長	燃やすごみは広域支援による処理をお願いしているところだが、広域支援先が変わることで処理方法等も変わり、量が増えているように見える。
林委員	店頭回収についてだが、利用者・量が増えていると思う。実態の把握はできないのか。
小野ごみ対策課長	都内に展開しているとあるスーパーの事例だが、展開している店舗の中で小金井市は突出して多いという話である。 では、目標値設定の考え方を説明させていただく。 (配布資料説明)

(審議過程) 主な発言等

渡辺副会長	家庭系と事業系をあわせて予測をする方法と読み取れたが、分けて作ったほうがよいのではないか。特に、事業系は持ち込み単価を見直すこともあり、これからどうなるか予測がつきにくいのもある。
大久保減量推進係長	家庭系と事業系を一緒に予測するわけではなく、同じ方法で予測して、それぞれに施策効果を加味して、目標値を設定していく。
渡辺副会長	事業系ごみのことを見据えておかないと、計画より量が上回ることが懸念される。
小野ごみ対策課長	最後に、次期基本計画の施策体系について、施策体系の見直し方針を説明させていただく。
	(配布資料説明)
山田委員	「資源循環システムの構築」を「リサイクルの推進」にしている理由はなにか。
大久保減量推進係長	3Rという言葉が浸透してきたこともあり、3Rの3つの項目を掲げた。
渡辺副会長	どちらが分かりやすいか、判断が難しいところである。軽量化もリデュースである。
岡山会長	これは行政計画ではあるが、ごみに対しては排出者である市民・事業者にも責任があり、3者が協働して取り組む必要がある。
林委員	分かりやすいと思う。
大久保減量推進係長	見直しをしようとした理由として、毎年のこととして、施策体系が細部にわたっていることもあり、かなり細かいところまで委員の皆様に評価していただき、時間もかけていただいている。今後は評価の仕方を変更し、施策の中で特に委員の皆様に

(審議過程) 主な発言等

石原委員	<p>注目されているものがあれば特記してもらおうなど、PDCAの回し方を見直したいと考えている。</p> <p>まだ素案の段階なので、多くのご指摘をいただきたい。</p> <p>「ごみを出さないライフスタイル」のほうが分かりやすいと思う。括弧書きでリデュースとしたほうが良い。</p>
小野ごみ対策課長	<p>文言も含め、ご指摘いただければと思う。</p> <p>世界、国の動向はこの5年で大きく変わってきており、そういったことも何らかの形で提案・表記していきたい。</p>
林委員	<p>国の方針は大まかなものなので、目標が具体化されておらずPDCAがやりにくい。自治体で細かく分析していく必要がある。</p>
岡山会長	<p>レジ袋の有料化に関しては、民法や容器リサイクル法との整合性の問題がある。レジ袋の有料化はリデュースであるマイバッグの推進であり、市は昔からやっている。ごみとして一定程度出ているが、ごみ袋としても使う。国は10円/枚と言っているが、これは小金井市の計画の中でやることではない。</p>
多田委員	<p>資料にあるワークショップの結果にも、ごみ収集袋のレジ袋化を推進とあるが、指定袋で買い物をするような取り組みを市が求めることができるか。</p>
岡山会長	<p>世界のトレンドは生ごみとプラスチックなので、ワークショップもこの2テーマとした。</p>
渡辺副会長	<p>前回計画は、何が何でも減らそうという計画だったが、今回は環境全体を見てという方向になってきた。</p>
多田委員	<p>現行体系の「環境負荷低減の推進」と、「計画の進行管理の実施」が次期体系にないが、どのような趣旨か。</p>
岡山会長	<p>5年前は最後まで入れて評価していたが、行政が絶対にやるべき事業は評価しなくてもいい、と決定したのではないか。</p>

(審議過程) 主な発言等

大久保減量推進係長	<p>現行施策の基本方針2～5に該当するものを、基本方針2に盛り込む方針で変更している。</p> <p>1つ1つ項目として出したほうがいいのか、似たようなものだからまとめるか、我々の方で検討していきたい。</p>
林委員	<p>低公害車の導入というのは直接ごみ減量とは関係ないが、定量的に評価しやすい項目である。そういうものも考慮していただきたい。</p>
大久保減量推進係長	<p>基本計画に入れたほうがよいのか、実施計画に入れたほうがよいのかについても整理していきたい。</p>
多田委員	<p>現行計画だと取り組み内容と具体的な取り組みが対応しているのかどうかというところがあったので、関連性をうまく整理できると良い。</p>
林委員	<p>基本計画に記載されている内容が細かすぎると思う。現行計画と比べ、もう少し簡素化したほうが良い。</p>
大江委員	<p>簡素化することは賛成だが、基本計画と実施計画の関連付けをする必要がある。</p>
岡山会長	<p>(11)にあたるかもしれないが、持続可能な廃棄物処理体制が重要である。今後高齢化が進み、収集する人に外国人が増えるのではといわれている。災害の話も非常時の収集体制確保として「(10)安心・安全・安定的な収集運搬体制の確保」の方に入れたほうがよいのではないか。</p> <p>個人的にはメリハリの利いた計画になれば良いと思う。量が多いところでは生ごみであり、次に単身者のプラスチックであり紙であり、など。いわゆる食品ロスは小金井市では少ない。調理くずが出るのは当然。となるとできるだけ生ごみ投入事業に誘導すると良い。</p>
渡辺副会長	<p>リデュースに食べ残しと水切りしか入っていない。根本的に流れを変える方向にできると良い。</p>

(審議過程) 主な発言等

岡山会長	生ごみの資源循環として、食品リサイクル堆肥がある。「(5) 啓発活動の強化」の見える化がそれに近いと思う。ワークショップで普及啓発が大事との意見を反映させたものである。
黒須委員	夏休みの生ごみ投入事業が浸透していない。7月の市報に広報して、ごみのことを学習する4年生から変わっていただけるように、PRの仕方を考えてほしい。
岡山会長	「(6) 環境教育・環境学習の推進」に子ども向けワークショップの開催、小中学校環境教育とあるので、行動に結び付けたい。
林委員	生ごみ投入事業については、告知が不足していたかもしれない。その辺りの反省を踏まえて、来年もやっていけたらと思う。
岡山会長	「(7) の地域におけるひとづくり・まちづくりの促進」が重要である。4年生にごみ大使をやってもらう、広報に協力してもらう、なども良いのではないかと思う。
岡山会長	それでは最後に、その他として事務局から何か報告があればお願いしたい。
小野ごみ対策課長	ごみ対策課として、粗大ごみに関して案内するナビダイヤルを導入することとなったことを報告させていただく。
大久保減量推進係長	<p>3市ごみ減量推進市民会議の報告させていただく。3市の市民が一体となつてごみ減量について検討する会議である。今年度は、全体会議とは別に減量施策について考えるグループに山田委員と林委員に参加、啓発していただき、施策についてご議論いただいている。10月29日(火曜日)に全体会議をさせていただき、これまでの検討の中間報告をさせていただく予定である。それをもとに議論していただき、来年の1月に結果報告といった内容になっている。そこでの内容は本審議会でもお示しさせていただく。検討内容についても基本計画にも盛り込む必要のあるものについては評価いただきたいと思います。</p> <p>最後に次回の審議会の日程は、10月10日(木曜日)18時から、中間処理場で開催を予定している。後日、改めて連絡</p>

(審議過程) 主な発言等

岡山会長	させていただく。 本日は以上をもって、審議会を終了する。
------	-------------------------------------